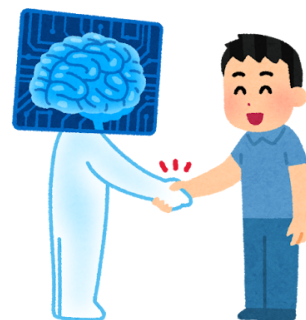


しくみを知って正しく使おう！ 「生成AI」 ガイダンス

みなさんは「生成AI（せいせいエーアイ）」という言葉を知っていますか？まだ学校の授業では使っていないけれども、インターネットの動画やゲーム、スマートフォンのアプリなど、すでに気づかないうちに出会っているかもしれません。

みなさんが生きるこれからの時代、AI(人工知能)はとても身近な存在になります。特に「生成AI」は、質問に答えたり、文章を作ったりする便利な道具です。しかし、使い方を間違えると、誰かを傷つけたり、自分の成長のチャンスを逃してしまったりすることがあります。このガイダンスを読んで、今から正しい生成AIの使い方を身につけましょう。

（令和8年度は一部の学校のみ、利用を開始しています。）



1 生成AIってなんですか？

生成AIとは「世界中から集めたたくさんの情報を使って、新しく文章や画像、音声、動画などをつくり出す（生成する）コンピューターのしくみ（人工知能）」のことです。

生成AIには次のような特徴があります。

- ・質問をするとまるで人間とおしゃべりするようにすぐに返事をくれる
- ・疲れることがないので、いつでも何回でも質問できる
- ・人間よりも圧倒的に作業が早い

しかし、生成AIには心や感情がなく、善悪の判断もできません。正しく使えるかどうかは使う人間次第です。

「しくみをきちんと理解すること」と「ルールを守って安全に使うこと」をとおして、人間が自分で判断し、使いこなすことが大切です。

2 生成AIのしくみ



生成AIは世界中のインターネット上にあるウェブサイト、本、ニュースなど、ものすごい量のデータを読み込みます。



もっている情報の中から「この質問には、こういう返事をするが一番自然だな」という計算をすばやくおこないます。

生成AIのしくみは、「たくさんのデータをもとに、次に来る確率が高い文字や絵のパーツを、ものすごい速さで予測して並べること」です。



生成AIは「本当のこと」を探しているのではなく「自然な文章」を作ろうとしているだけなので**「まちがったことを本当のことに話す」ことがあります。**

生成AIは「誰かがつくったもの」や「誰かが入力したもの」をたくさん読み込んでいるので、**誰かの作品にそっくりになってしまう可能性があります。**

しくみがわかると、気をつけることが見えてきませんか？

3 生成AIを安全に使うための「5つのルール」

生成AIを使うときは、次の5つのルールを必ず守りましょう。
 どうしてそのルールが必要なのか、しくみといっしょに説明できるといいですね。

ルール	気をつけること
① 「まずは」自分で考える 「最後も」自分で考える (生成AIはサポーター) 	AIは宿題を代わりにやってくれる道具ではありません。 まずは自分で考えましょう。 AIからもらったヒントも参考にしながら、 最後もあなただけの言葉やアイデアで作文や調べ学習を完成させましょう。
② 本当かどうか確かめる (ファクトチェック) 	AIはときどき、もっともらしい「うそ(まちがった情報)」を言うことがあり、これを「ハルシネーション」と呼びます。 AIの言ったことをそのまま信じないで、教科書や本、信頼できるウェブサイトですべて本当かどうか確かめましょう。
③ 大事な情報を入力しない (プライバシー保護) 	あなたや友達の名前、住所、電話番号、学校名などの「個人情報」は、絶対にAIに入力してはいけません。 「これを世界中の人が見ても大丈夫かな?」と考えて、入力する言葉を選びましょう。
④ 人の作品を大切にする (著作権の尊重) 	AIが作った文章や絵をそのまま「自分が作った」と言って学校に提出してはいけません。あなたの作品ではないからです。 AIのアイデアを参考にしたときは、「これはAIといっしょに考えました」と先生やみんなに伝えましょう。
⑤ こまったら大人に相談 	AIを使っていて、返ってきた答えがなんだか怖いな、変だなと思ったときは、一人で悩まずに、 すぐに先生や家の人に相談してください。

4 「学校で使う生成AI※」と「一般の生成AI」のちがい

※令和8年度は一部の学校のみ、利用を開始しています。

学校のGIGA端末にログインして使う生成AIは「教育版(きょういくばん)」といってみなさんが入力した内容を、AIが勝手におぼえることはありませんので安心して使うことができます。

ただし、一般の生成AIは入力したことがAIに吸収されてしまうことがあるので注意が必要です。一般の生成AIは「〇歳以上しか使えません」などのきまりがあるものが多いです。使ってみたいときは、必ず事前に家の人に相談して一緒に画面を見ながら使いましょう。

学校のGIGA端末にログインして使う教育版生成AIの種類は次の2つです。それぞれの生成AIが得意なことを知っておくと「この場面ではこちらを使おう」と自分で判断することができます。

 (よみかた：じぇみに)	 (よみかた：のーとぶっくえるえむ)
こんなときにおすすめ ・新しいアイデアや考えるためのヒントがほしいとき ・英会話の練習相手になってほしいとき	こんなときにおすすめ ・プリントに書いてあることをわかりやすく知りたいとき ・自分が書いたものをまとめたいとき